

令和5年度関西広域連合都市農村交流現地検討会（開催レポート）

事業の目的

各地域の特色ある都市農村交流活動や取組事例について、関係者が一堂に集い、現地視察をはじめ意見交換を行うことにより、各構成府県市のさらなる都市農村交流活動の活性化を推進します。

開催概要

○日程：令和5年11月20日（月）～21日（火）

○場所：京都府亀岡市

11月20日

- ・（直売所視察）ファーマーズマーケットたわわ朝霧
- ・（講演、意見交換）道の駅ガレリアかめおか

11月21日

- ・（直売所視察）京都佐伯の里
- ・（講演、ワークショップ）道の駅ガレリアかめおか

○参加者：都市農村交流活動実践者及び自治体関係者等 37名

11月20日

○直売所視察（ファーマーズマーケットたわわ朝霧）

説明者：京都農業協同組合営業部農畜産物直売所 店長 井原弘揮氏

京都府内で最大規模の直売所を視察し、JA 京都や施設の概要などについて説明を受けました。

○講演「オーガニックビレッジの取組」

講師：亀岡市産業観光部農林振興課 副課長兼有機・食農推進係長事務取扱 荒美大作氏

環境問題を考えるという視点から有機農業を推進し、全国で2番目にオーガニックビレッジ宣言をした亀岡市の取組について紹介いただきました。

意見交換の中で、まずは小さい面積でも有機農業に取り組む人を増やしていくことで取組を広げていきたいというお話をいただきました。

○講演「京都オーガニックアクション等の取組」

講師：一般社団法人京都オーガニックアクション 代表理事 鈴木健太郎氏

KOA（京都オーガニックアクション）便で小売店と生産者をつなぐ取組などについて紹介いただきました。

意見交換の中で、「人と人のつながり」を大切にすることで八百屋というビジネスを継続させることができるといったお話をいただきました。

ファシリテーターを務めた特定非営利活動法人テダス理事長の高橋博樹氏からは、既存のルールにねじ込むのでは上手くいかないの、現状のままで柔軟に対応する方法を考えることが必要とのお話をいただきました。

11月21日

○直売所視察（京都佐伯の里）

説明者：株式会社京都佐伯の里 代表取締役 茨木儀一氏

今年度開設された地元の直売所を視察し、地域の取組や施設の概要などについて説明を受けました。

○講演「集落の教科書」

講師：特定非営利活動法人テダス 事務局長 田畑昇悟氏

特定非営利活動法人テダスで作成を支援している「集落の教科書」について、作成の経緯や内容などについて紹介いただきました。

集落の教科書は、移住者の不安を和らげるだけでなく、集落の既存住民が共通認識を持ち、ルールの更新をしていくことも目的をしているというお話をいただきました。

○ワークショップ「わくわく相談会議の作法」

講師・ファシリテーター：特定非営利活動法人テダス 理事長 高橋博樹氏
事務局長 田畑昇悟氏

地域を活性化させるために不可欠な会議を、有意義でおもしろいものにするための手法について紹介いただいた後、グループワークを実施しました。

「都市農村交流で得たいもの」についてのワークでは、60以上の項目を出したグループもあり、次回の現地検討会開催に向けたアイデアが得られました。

参加者からの感想（抜粋）

- ・交流会、ワークショップなど、講師先生や参加者の皆さんと交流し、意見を出し合う時間がとても有意義でしたので、今後も是非検討会の内容に盛り込んでいただきたい。
- ・地域と話し合いをする時、行政としてどういう心構えで臨めばよいか等、学びが多かった。
- ・有機野菜の推進で、小規模からひとまず始めていくという考え方が参考になった。
- ・直売所の「色」を知ることができて参考になった。
- ・具体的なヒントをたくさん頂き、これからは生かしていけると感じた。

○たわわ朝霧での視察



○京都佐伯の里での視察



○1日目の講演・意見交換



○2日目の講演・ワークショップ

